



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No. 42

(平成26年度振り返り特別号)

平成27年2月20日発行

平成26年度 活動を振り返って



平成27年2月20日発行

県立直江津中等教育学校

4 中等教育学校の特長を生かした6年間を見通した指導

6年間の一貫したカリキュラムで夢の実現を図る中等教育学校は、その特長を活かすため、一般的な前期課程（中学校）と後期課程（高等学校）という2つの段階よりも、以下に示す3つのステージ制が有効であると考えています。本年度は3つのステージ制を強化し、ステージごと生徒の確かな成長を支援していきます。

県立直江津中等教育学校の目指す生徒

Be an ACE ! (ビー・アン・エース)

○常に大志を抱き **A**mbition(大志・夢)
 ○世界への貢献を目指して **C**ontribution(貢献)
 ○活力ある行動で **E**nergy(活力・活躍)

目指す生徒像に迫る3つのステージ(2-2-2system)

時期	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
区分	STAGE1				STAGE2				STAGE3			
生徒像	・真摯に学ぶ学習者 ・自主・自律が身に付き、意欲的に取り組む生徒				・自立する学習者 ・世界的視野を身に付け、的確に表現できる生徒				・目標を実現する学習者 ・自分と社会の将来を見据え、実践力を身に付けた生徒			
制度上の区分	前期課程						後期課程					

【STAGE1で目指すもの】
 「期間」1年～3年1学期
 徹底した学習サイクル(授業－課題－小テスト－補習)で、学習習慣を確立し、基礎基本の定着を図ります。6年間の基礎固めです。

【STAGE2で目指すもの】
 「期間」3年2学期～4年
 いわゆる「中だるみ」と言われる時であり、この時期の過ごし方により、大きな差が生まれます。中等6年間の中で、一番重要な時期となります。この時期は、STAGE1で獲得した力を活用する機会として、土曜講座、海外研修や各種検定等を位置付けています。
 また与えられた課題だけでなく、自らの興味関心に応じて、学習を深めることが重要となり、この学びが大学選択につながります。

【STAGE3で目指すもの】
 「期間」5年～6年
 この時期は言うまでもなく目標とする大学へと進学できるよう、最善を尽くす時期です。

学習・進路指導の3つのSTAGE

	STAGE1	STAGE2	STAGE3
目指す生徒像	真摯に学ぶ学習者	自立する学習者	目標を実現する学習者
学習の目標	【基礎・基本の徹底】 ・学習習慣の確立 ・基礎・基本の習得	【実力養成】 ・自分の興味に応じた探求的な学習 ・専門的な知識や技能習得への興味	【実践力養成】 個性・能力・進路に応じた学力の習得と自立した人格の完成
学習指導の重点	・学習サイクル確立 ・課題－小テスト－補習 ・授業規律確立 ・自己の学習状況の内省	・チャレンジ学習 ・土曜講座 ・アメリカ海外研修(事前・事後学習)	・各種模試 ・著名講師による授業
進路啓発	・大学訪問 ・進路啓発講座 ・職場体験学習	・高大連携事業 ・医師・看護師体験	・オープンキャンパス

5 進路指導の充実

(1) 進路状況 【過去2年間（I・II期生）の主な合格状況】 I期生の今春の結果も含む

国公立大学

北海道大学(2) 国際教養大学(1) 東北大学(4) 筑波大学(1) 千葉大学(3) 東京大学(2)
 東京学芸大学(3) 一橋大学(1) 首都大東京(3) 新潟大学(21) 金沢大学(5)
 京都大学(2)

私立大学 他

自治医科大学(1) 早稲田大学(12) 慶応大学(8) 上智大学(2) 東京理科大学(6)
 青山学院大学(4) 中央大学(15) 東洋大学(10) 法政大学(10) 明治大学(16)
 立教大学(6)

【過去2年間（I・II期生）の進路状況】

卒業生	国公立大学		私立大学		準大学進学 (防衛医 科大学等)	短期大学 進学	専修学校等 進学	進学準備等 (含留学)	計
	合格	進学	合格	進学					
I期生	43	37	157	48	0	1	7	18	111
II期生	50	34	186	50	1	1	7	7	100

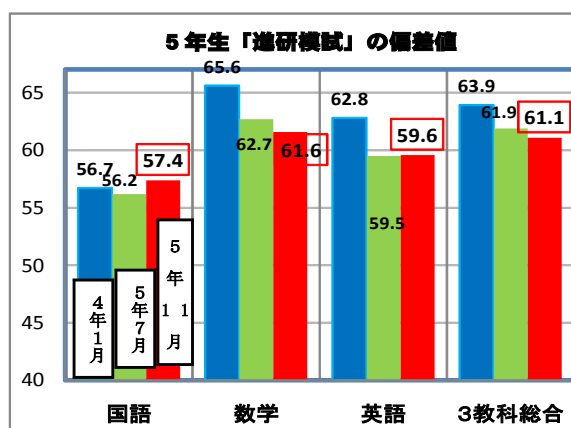
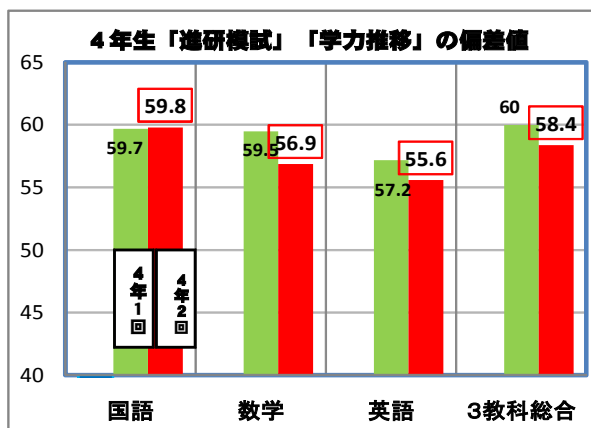
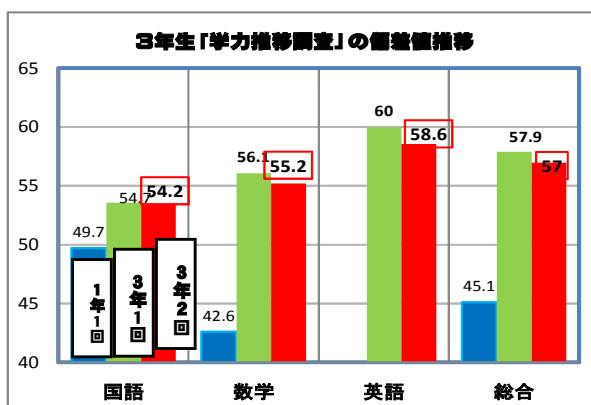
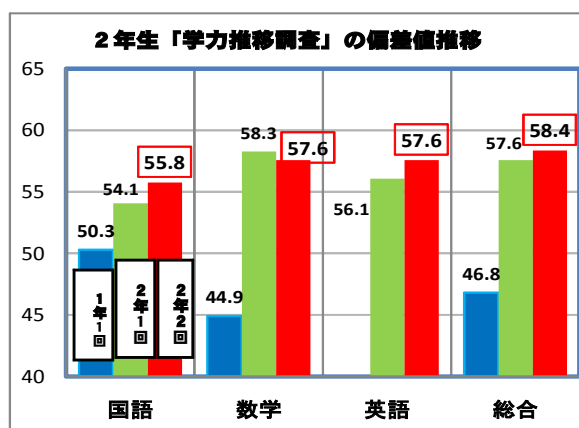
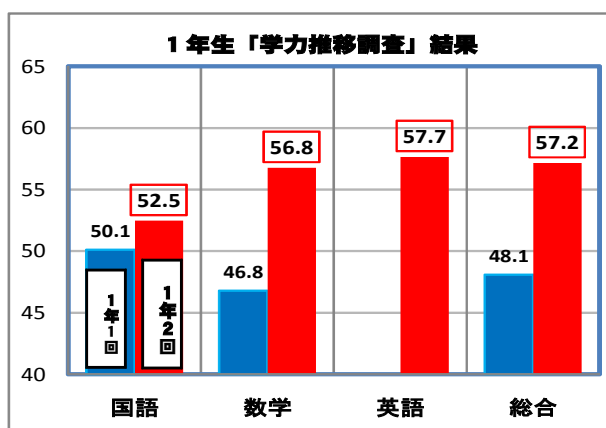
センター入試では理系に比べ文系の得点が伸びず苦戦しましたが、入試では逆に文系が健闘した結果となりました。

I期生に比べ、難関校への合格者数は減りましたが、国公立大学合格者を比べると、I期生の39%に対して、II期生は50%となり、健闘しました。

既卒者（I期生）の本年度の結果は、京都大2名、新潟大学医学部医学科1名と難関大学の合格を勝ち取ることができました。

(2) 各学年の各種模試結果

前期課程学力推移調査の結果



(3) 各学年の各種検定取得状況

英語検定		準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
	1年生		1	2	7	34	54
	2年生			5	96	20	
	3年生			67	57		
	4年生		5	74	44		
	5年生		38	62	6		
	6年生	2	45	67			

漢字検定		準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
	1年生			2	8	50	36
	2年生		3	14	77	24	3
	3年生		6	51	52	15	
	4年生		6	57	43	12	4
	5年生		8	58	23	14	1
	6年生		26	58	27	2	1

数学検定		準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
	1年生			1	2	16	15
	2年生				22	96	
	3年生			33	85	6	
	4年生			29	60	30	
	5年生		11	65	30	2	
	6年生		6	16	52	17	3

平成26年12月31日現在

6 特別活動の充実

(1) 行事の充実

- 6年間を見通した、豊かな人間性や創造力を身に付け、大志をもって世界に貢献できる人材育成のための特別活動の充実

【学校行事】

- ・体育祭（6月） ・チャレンジウォーク（9月） ・文化祭（10月）
- ・合唱コンクール（12月） ・球技大会
- ・後期課程進級式（3月） ・卒業証書授与式（3月）

【学年行事】

- 1年生：オリエンテーション合宿（4月、富山1泊2日）
県外合宿（3月、東京1泊2日） スキー学習（2月）
- 2年生：福祉体験学習（7月 1日間）、 修学旅行（3月、関西2泊3日）、
- 3年生：学習合宿（7月、長野1泊2日） 職場体験学習（11月、3日間）
スキー合宿（2月、県内1泊2日）
- 4年生：海外研修（11月、アメリカ2週間）
- 5年生：大学訪問（7月、東北大学1泊2日）
スキー合宿（2月 長野2泊3日）
- 6年生：学習合宿（7月）



(2) 生徒会活動 ～資源回収プロジェクト～

平成 24 年度生徒会が始めた資源回収プロジェクト（アルミ缶などを収集し、車椅子を寄贈する活動）が実を結び、本校に隣接するツクイ・サンシャイン上越（介護施設）に車椅子 1 台を寄贈することができました。また、約 800 名分のポリオワクチンを、ブータン、ミャンマー、ラオスの各国に贈ることもできました。資源回収にご協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

本プロジェクトの趣旨は、車椅子を寄贈することが最終目標ではなく、福祉施設と日常の交流につなげることにあります。毎年 2 年生が、近隣の介護施設で福祉体験を行ったり、生徒会の福祉委員会が訪問したりしている活動を、今後更に発展させていきたいと思っております。生徒会では、2 台目の車椅子を寄贈すべく、アルミ缶やペットボトルの回収を続けますので、引き続きご協力をお願いいたします。



(3) 部活動・各種実績（部活動実績は中体連・高体連主催の公式大会の入賞のみ）

【前期課程】

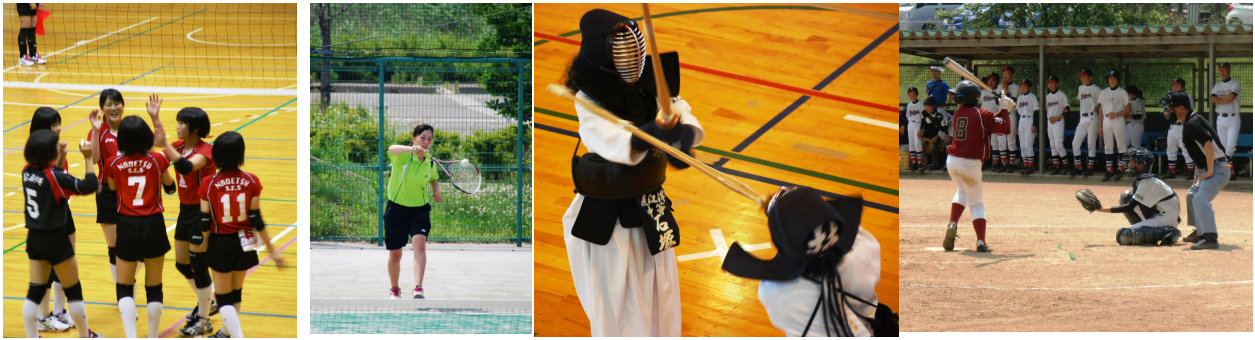
上越合同体育大会（6月）

- | | |
|-------------|----------|
| ◇サッカー | 4位 |
| ◇バレーボール(女子) | 3位 |
| ◇バスケット(女子) | 3位 |
| ◇剣道 | 個人ベスト 16 |

◇新体操	女子個人総合6位、	
◇水泳	女子100m平泳ぎ1位	女子200m平泳ぎ1位
	女子100m自由形7位	女子200m個人メドレー8位
上越地区大会(7月)		
◇バレーボール(女子)	2位	
◇器械体操	女子個人総合7位	
◇水泳	女子100m平泳ぎ1位	女子200m平泳ぎ1位
	女子200m背泳ぎ8位	女子200m個人メドレー8位
新潟県総合体育大会(7月)		
◇バレーボール	出場	
◇器械体操	出場	
◇水泳	女子200m平泳ぎ7位	
上越合同新人大会(9月)		
◇サッカー	ブロック1位	
◇バレーボール(女子)	5位	
◇バスケット(女子)	3位	
◇剣道部	男子団体ブロック3位	
◇器械体操	女子個人総合4位	
◇水泳	女子50m自由形5位、女子100m自由形6位	
	女子200m個人メドレー4位、女子200m背泳ぎ6位	
【後期課程】		
春季地区大会		
◇サッカー	敗者復活戦にて県大会へ	
◇テニス部	女子ダブルス2位	
	女子シングルス2位、ベスト8、ベスト16	県大会出場
◇バドミントン	男子ダブルス3位、ベスト16(2ペア)	
	男子シングルス2位、ベスト8(2名)、ベスト16(1名)	
◇陸上		
◇剣道	走り幅跳び10位	
◇新体操	女子団体2位	
	女子個人総合2位(フープ2位、ボール3位)	
秋季地区大会		
◇剣道	女子団体2位	
新潟県高等学校総合体育大会		
◇バドミントン	男子学校対抗	ベスト16
◇水泳	男子200自由形5位、	
	男子400m自由形4位	北信越大会出場へ
	女子400m個人メドレー4位	北信越大会出場へ
国民体育大会 長崎がんばらんば国体		
◇山岳	山岳少年女子	出場

【文化関係】

- ◇吹奏楽部(前後期課程合同)
 - 新潟県吹奏楽コンクール 銅賞
- ◇特設合唱部
 - 全日本合唱コンクール新潟県大会 銅賞
 - NHK全国学校音楽コンクール上越地区大会 優良賞
- ◇美術部 上越地区美術・書道合同展 出場



7 地域連携について

(1) 保護者・同窓会との連携

- ・ P T A 総会、学年 P T A (年 3 ～ 5 回)
- ・ 保護者面談 (年 2 ～ 3 回)
- ・ 授業参観 (年 3 回)
- ・ 親子レク、保護者向け進路講演会
- ・ 市 P 連野球・バレーボール大会
- ・ 奉仕作業 ・ P T A 先進校視察 (10 月)
- ・ オープンスクール (年 2 回)
- ・ 横倉輝男先生の記念講演会 (同窓会との共催)



(2) 広報活動

- ・ 体験入学会 (6 月 授業参観+学校説明) ・「直江津中等だより」配付 (年 4 回発行)
- ・ 「入学案内パンフレット」配付 (上越地区小児童全員配付)
- ・ 小学校毎での説明会実施 (6 月～ 11 月実施 3 1 校)
- ・ 地区別学校説明会 (糸魚川、上越、妙高の 4 会場)
- ・ 文化祭時の入学相談 ・ 学校 H P に学校だよりを毎週更新
- ・ 1 年生による出身小学校への近況報告、後輩への写真入りメッセージカードの配付
- ・ 学校所在地周辺の町内会に「地域版中等だより」を発行

(3) 地域への貢献

- ・ 海岸清掃 (8 月 前期課程の生徒が直江津海岸を清掃)
- ・ 車椅子の寄贈 (サンシャイン上越に車椅子 1 台を寄贈)
- ・ 出身小学校への訪問 (ミニ講師になって、出身小学校の 6 年生に対し、進路や学習について語る)

8 平成26年度 新たな教育活動についての振り返り

(1) 国際理解教育の充実のための取組

国際理解教育推進重点校 (新潟県国際交流協会指定) として 2 年目を迎え、「国際社会でリーダーとして活躍できる人材」の育成を目指し、これまで以上に力を入れてきました。

【各学年の取組】

第 1、2 学年：県立大学による国際理解に係わるワークショップ

3 学年：松代大本営跡地見学

4 学年：海外研修 (アメリカ) の充実、日露カード交換

【留学生ふれあい事業】

上越教育大学の留学生が定期的に本校を訪問し、授業に参加したり生徒との交流会を行ったりして、生徒の英語力や国際感覚を養いました。

(2) 「あすなろ探究」(3 年次) 自立して学ぶ学習者の育成のための取組

「あすなろ探究」を 3 年次に実施しました。「あすなろ探究」の目的は、探究活動を通して、

広い視野で物事を考え、判断する力を養うとともに、的確に表現する力を養うことです。生徒が自身の興味関心に従って、6つの分野（国・数・社・理・国際・技術）に分かれ、それぞれの分野で探究活動を行いました。

【 各分野の主な活動と実績 】

国語分野：文章読解・作成能力検定（準2級10名、3級8名合格）

各種コンクール応募

数学分野：BSN数学選手権、TOMAC、ジュニア数学オリンピック出場

社会分野：歴史検定、人権作文にチャレンジ

理科分野：いきいきわくわく科学賞にチャレンジ

国際分野：国際理解プレゼンテーション大会優秀賞 3チームが出場

JICA、国連の作文コンクール応募

ユニクロ「服のチカラプロジェクト」に参加、各小学校に依頼し、段ボール箱43箱分の服を集め、ユニクロに送付できた。

技術分野：「私たちの情報モラル・セキュリティ行動宣言部門」に応募、全国12校のみが選ばれる『特別賞』（最高賞）を受賞できた。

自分新聞、学校CM、学校生活の調査・分析レポート作成

「第10回IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール2014」への応募

(3) 異学年交流 ～縦割り班活動～

中高一貫教育校の特長は先取り学習が可能なカリキュラムばかりではありません。中学校1年相当と高校3年相当の6学年がともに学校生活を送ることにより、後輩達は先輩に憧れたり大きな刺激をもらったりできることも大きな利点と言えるでしょう。

本年度より全学年で取り組む体育祭において学年を越えた絆を更に深めることができるよう、以下の縦割り活動を行いました。

【 縦割り活動 】

1～6年で構成される班を組織し、5、6年生が班のリーダーとなって、学習のこと、進路のこと、海外研修のこと等をテーマに年数回座談会を開きました。

【 部活動前後期合同練習会の実施 】

月1～2回、前期課程と後期課程の同部活動が一緒に練習を行い、後期生が前期生の指導をしました。

(4) 土曜講座の改善（後期課程）

本年度より、学年の枠を越えて指導することとし、以下のようなレベル別の講座を開設しました。

・ハイレベル講座（難関大学受験向け）・スタンダード講座（中堅国立大学受験向け）

(5) 修了テストの実施（3年次）

第1ステージの修了時に、高校入試と同等レベルのテスト（5教科）を行い、全員が一定程度の学力を身に付けるようにしました。

【本校初の留学生】

Aiko Koharaさん（AFSの留学生 アメリカカリフォルニア州出身）が平成26年9月1日～平成27年2月4日まで本校4年生に在学しました。本校にとって、初めての留学生の受入となりました。

9 成果と課題

(1) アンケートの分析より

【生徒アンケート】

- 全体的には肯定的評価の割合で 80 %以上が 9 項目（昨年度 4 項目）、70 %台が 3 項目（昨年度 6 項目）、70%未満が 4 項目（昨年度 6 項目）であり、昨年度に比べ良好の結果であった。一番高い評価は、昨年度同様「3 丁寧な指導」の 96 %であり、一番低い評価は「9 生徒会活動充実度」の 62 %であった。
- 昨年度との比較より、肯定的評価が 5 %以上増加した項目は以下の 7 項目であり、5 %以上減少した項目はなかった。（「1 授業は役に立つ」の項目は本年度より実施のため除外）
 - 「2 授業は分かりやすい」「5 学力向上策」「6 進路指導の充実」
 - 「9 生徒会活動充実度」「12 相談体制」「15 学校生活満足度」「16 本校入学満足度」
- 各項目を学年別に比較すると、全般的に 1, 2 年生の評価が高い。学年により大きく異なる項目は以下のとおりであり、これらの傾向は昨年度とほぼ同様の結果であった。
 - 「4 家庭学習習慣定着度」「5 学力向上策満足度」「8 直中等生としての誇り」
 - 「9 生徒会活動充実度」「13 規範意識」

【保護者アンケート】

- 全体的には肯定的評価の割合で 80 %以上が 9 項目（昨年度 10 項目）、70 %台が 4 項目（昨年度 3 項目）、70%未満が 1 項目（昨年度 1 項目）であった。一番高い評価は、「8 学校行事満足度」の 92 %であり、一番低い評価は「6 目標実現の努力」の 66 %であった。
- 昨年度との比較より、肯定的評価が 5 %以上増減した項目はなかった。
- 各項目を学年別に比較すると、生徒アンケート同様、1, 2 年生の評価が高い結果であった。
- 進路指導・学力向上の他に、今後本校が力を入れていく教育活動として、「社会性育成」「国際理解教育」「基本的生活習慣の確立」が上位に挙げられ、この傾向は昨年度と同様な結果であった。

(2) 成果と課題

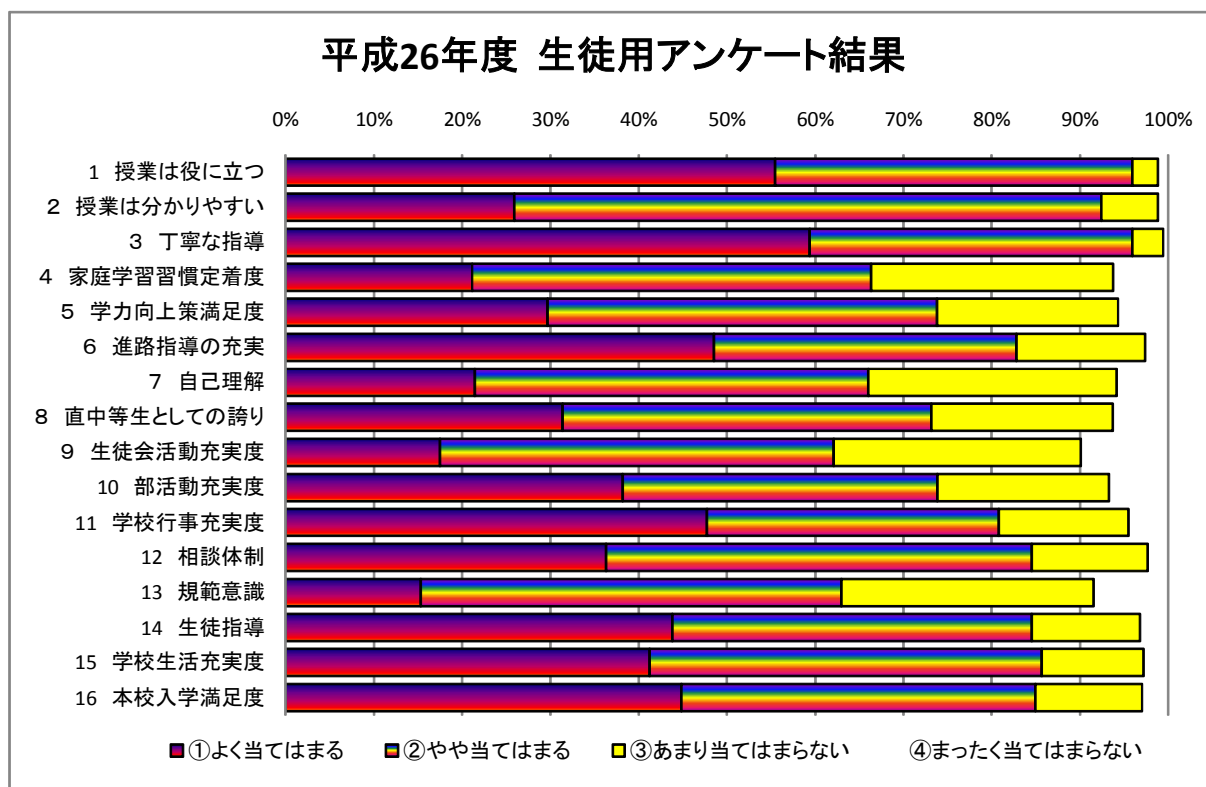
- 学年が上がるにつれて学力や学習意欲の差が拡大する。与えられた課題をきちんと提出することはもちろん自主的に学習できる生徒を育てたい。
- 前期課程から後期課程に移行する時期のいわゆる「中だるみ」の解消を図るため、本年度から「あすなる探究」「修了テスト」を実施し、一定の評価が得られた。今後、より一層の充実が求められる。
- 生徒会活動充実度が、昨年度より 7 %上昇するなど一定の効果が見られた。体育祭や文化祭の活性化の他、本年度は車椅子の寄贈が実現できた。
- 6 年間で 3 つのステージに分け、各ステージに身に付けたい力や態度を明確にした指導をより充実させる必要がある。

(3) 課題への対応

- 開校 8 年目を迎え、本校のこれまでの実践や成果と課題を踏まえ、進路指導、学習指導、特別活動を見直し、中等教育学校の特長を生かした新たな学校づくりや教育課程の編成をしていきたい。
- 国の教育施策（大学入試改革やグローバル人材の育成）に対応できる自立する学習者を育成するため、基礎基本の定着とともに思考力、判断力、表現力の向上を目指す。
- 本校の教育目標である「主体的に学び、豊かな人間性や創造性を身に付け、大志をもって世界に貢献するたくましい人材の育成」の具現化を目指し、地域や大学等と連携を図り、国際理解教育をより一層充実させていく。
- 生徒の自主性をいっそう伸張させるため、生徒会活動の充実を図り、地域貢献にも力を入れていく。

生徒用アンケート質問内容

- 質問1 先生の授業は役に立つ
- 質問2 先生の授業は分かりやすい。
- 質問3 先生は質問に丁寧に答えてくれる。
- 質問4 週末課題や毎日の課題を通して、家庭学習の習慣が身に付いた。
- 質問5 本校の学力向上策（週末課題、補習、土曜講座）について満足している。
- 質問6 自分の進路について考える機会が多い（進路講演会、進路講話、各行事など）。
- 質問7 各種検査や教育相談、学活（ホームルーム）を通して自己理解が深まった。
- 質問8 直中等生としての誇りをもっている。
- 質問9 生徒会活動（総務、各委員会活動、生徒会行事）が充実している。
- 質問10 部活動は充実している（部活動に所属している生徒のみ回答）。
- 質問11 学校行事は充実している（体育祭、文化祭、各種合宿、遠足）。
- 質問12 先生は生徒の悩みごとを聞き、相談にのってくれる。
- 質問13 生徒は学校のきまりや規則を守っている。
- 質問14 先生は学校のきまりについてしっかり指導している。
- 質問15 学校生活は充実している。
- 質問16 本校に入学して良かったと思う。

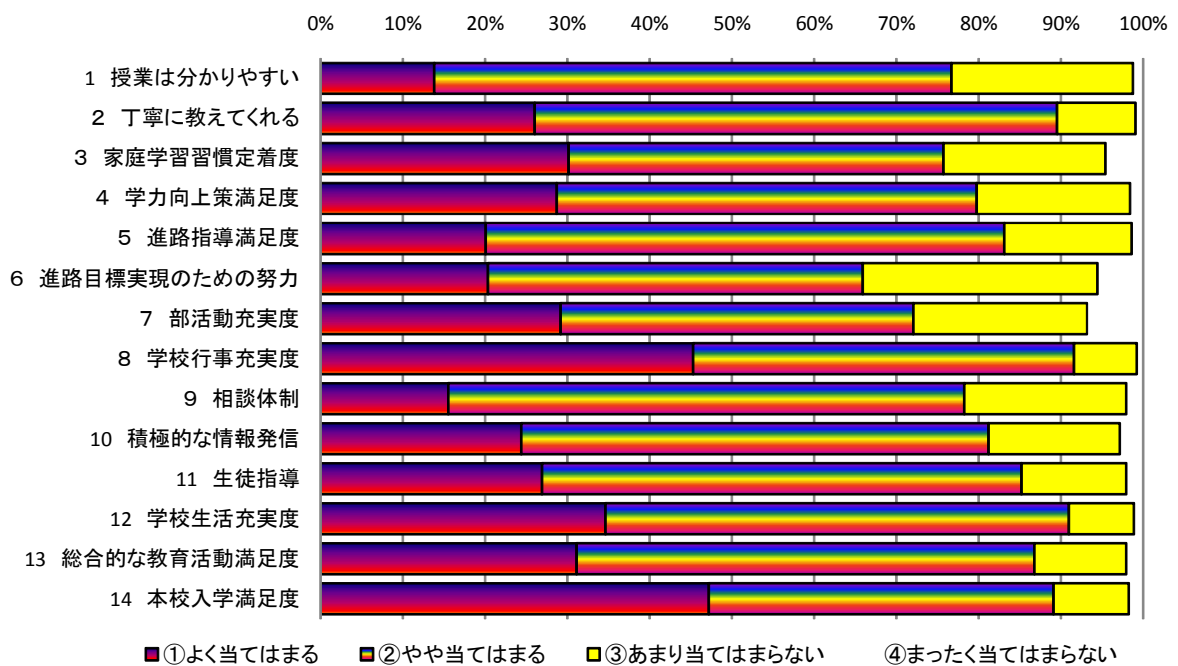


保護者用アンケート質問内容

回答世帯数 630

- 質問1 お子さんにとって授業は分かりやすい様子である。
 質問2 教師は質問に丁寧に答えてくれる様子である。
 質問3 お子さんは週末課題や毎日の課題を通して、家庭学習の習慣が身に付いた。
 質問4 本校の学力向上策（週末課題、補習、土曜講座など）について満足している。
 質問5 本校の進路指導に満足している（進路講演会、進路講話、各行事など）。
 質問6 お子さんは進路目標の実現に向け前向きに努力している様子である。
 質問7 部活動は充実している（部活動に所属している生徒のみ回答）。
 質問8 学校行事は充実している（体育祭、文化祭、各種合宿、遠足）。
 質問9 本校は面談をはじめ生徒の悩みごとを聞き、相談にのれる体制ができています。
 質問10 本校は校内の様子を様々な方法で積極的に情報を発信している。
 質問11 先生は学校のきまりについてしっかり指導している。
 質問12 お子さんの学校生活は充実している様子である。
 質問13 総合的に本校の教育活動に満足している。
 質問14 お子さんを本校に入学させて良かったと思う。

平成26年度保護者用アンケート結果



今後力を入れたい教育活動

